



ロケットエンジン用バルブシステムの納入先・帝国重工の業績悪化、主要取引先からの非情な通告、そして番頭・殿村に訪れた危機…。予期せぬトラブルにより窮地に陥った佃製作所で、社長・佃が下した意外な決断とは。

一般書

下町ロケット ゴースト

池井戸潤 著 (小学館)



(小学校低学年向け)

児童書

ふたりはとっても本がすき!

如月かずさ 作 (小峰書店)

チーターのチツタちゃんとかバのヒツポくんは本を読むのが大好き。はやく、たくさん読むチツタちゃん、ゆつくり、じつくり読むヒツポくん。正反対のふたりだけど…。

9/30・10/7 図書室休館のお知らせ

資料整理のため、9月30日(日)は図書室をお休みします。町民体育大会のため、10月7日(日)は社会教育センターを休館します。なお、町民体育大会が中止になった場合は、通常どおり開館します。

問合せ 社会教育センター 図書室 ☎28・5449



おはなし会

町内2つのボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します

9/13 おひさまのおはなし会

▶とき 9月13日(木)午前10時30分~▶ところ 総合福祉センター南館ひまわり▶対象 乳幼児

9/15 ゆめっ子のおはなし会

▶とき 9月15日(土)午後1時30分~▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室▶対象 小学校低学年、幼児

問合せ いずれも、社会教育センター図書室 ☎28・5449

豊山俳句クラブ

青山克己 選

海に向く横 一列の夏帽子 田村多喜子

広がりし青田に風の転がれり 坪井昭子

大瀑布音の中へと落ちゆけり 杉浦みどり

青嵐濃く連なりし里の山 小塚美枝

空よりも深き青なる夏の海 坪井径子

青畳風が運びし夏料理 青山とも子

豊山歌壇

水野笑子 選

ふと見れば夕焼の空眩しくて 鈴木久子

窓の向うに明日が見ゆる 鈴木弘香

当番と弘法様へ花供ふ やさしきお顔にまづは一礼

介護予防の講座に作る編てまり 中澤芳子

指先絡みて脳は混乱 指先絡みて脳は混乱

いつとなく胸裡の芯消えてゆく 水谷弘子

水野眞弓 咲ひた咲ひた百日草の花三つ

谷崎 琴 夏野菜たらひの水につけ置きし

岡島 齋 揺さぶりて透かして覗く螢籠

高木須磨子 海原の大きくうねる酷暑かな

山下敬太 校庭に鉄棒だけの夏休み

黒澤裕子 落りんごコンフィに煮詰めいと旨し

石黒貴代子 裸の子奇声をあげてはしやぎをる

青山克己 山車を曳くかつ群がりて夏を曳く

水野勝代 名古屋城エレベーターに關しては 健脚の吾には思ひ及ばず

山田 米 礼状を認め感謝する忘れたき 過酷なる日を伝へる人に

渡辺トヨ子 六十を越えし思ひはいつのこと 七十半ば迷ひ深まる

荒川昌枝 紫陽花の色付き初めて母想ふ 今在りせばと年齢へぬ

安藤定岳 水の中走り泳げるのぼりこい 泳ぐ泳ぐよ波立つ川を

一柳千鶴子 吾が齢既に亡父を越して今 老いとふ悲しみ父に重ねて

編集後記

「普段から食べ慣れたお米のおかげ」。そう語るのは、夏の甲子園で準優勝した秋田県の実業関係者から名産のあきたこまち約二百キロが届けられていた。宿舎の食卓に每晚並ぶ「あきたこまち」は、甲子園という特別な場所でも平常心でいられる一助になったことだろう。食べ慣れたもので安心感をといて共通するのは、今月号の特集で紹介した防災のための備蓄法「ローリングストック」である。堅苦しく「備蓄」を考えるのではなく、いつも使う食材を多めに購入しておく。いわゆる「買い置き」を活用した手法だ。人間は心身の緊張を解いたりラックステートでその力を発揮できるという。災害時という「非日常」において、普段どおりという安心感は災害を乗り越える一助になる。二週間以上にわたる激戦を勝ち抜く気力と体力、諦めない勝負強さ。金足農業高校野球部のチームテーマの一つは「平常心」だったそう。